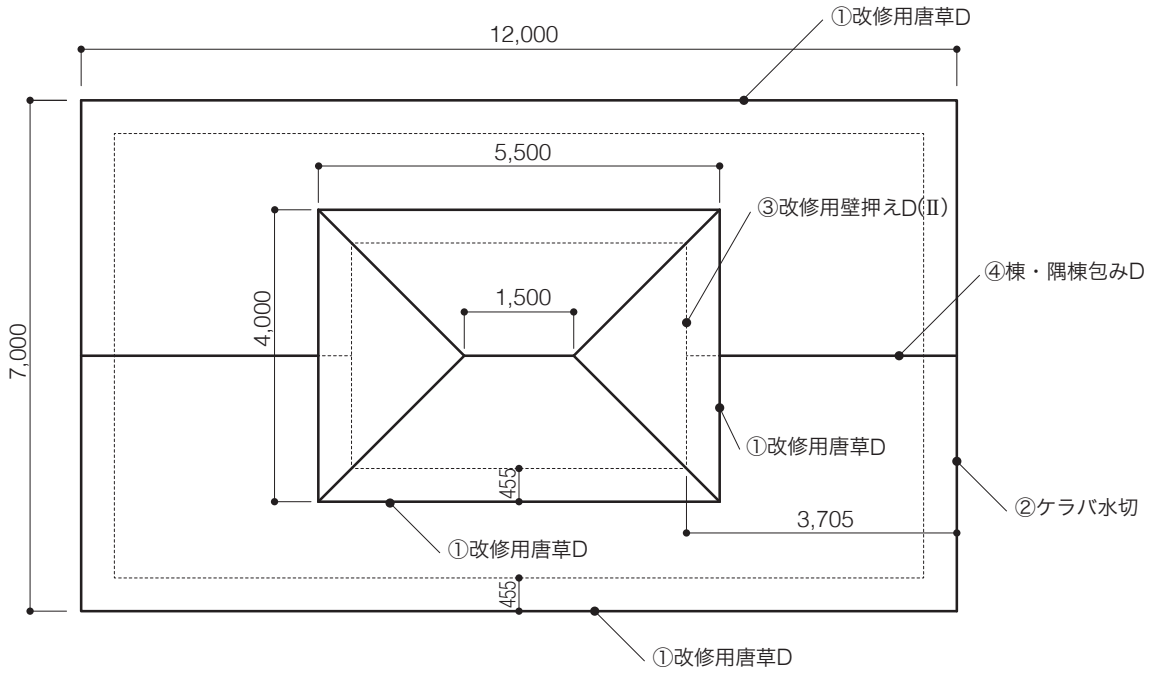
10 参考資料

10－1. 積算方法

●例：3.5寸勾配の場合

単位：㎜



上図を例に算出しています。

①改修用唐草D

・軒の長さ＝43,000㎜　　重ね幅＝50㎜　　の場合

軒の長さ÷（改修用唐草D１本の長さ－重ね幅）

＝43,000÷（2,727－50）＝16.06⇒17本必要です。

（ロス分は含まれておりません）

②ケラバ水切

・ケラバの長さ＝14,826㎜　　重ね幅＝50㎜　　の場合

ケラバの長さ÷（ケラバ水切1本の長さ－重ね幅）

＝14,826÷（2,727－50）＝5.54→6本必要です。

（ロス分は含まれておりません）

③改修用壁押えD（Ⅱ）

・壁との取り合い部＝15,726㎜　重ね幅＝50㎜　出隅加工幅＝150㎜　　の場合

（壁との取り合い部+（出隅加工幅×出隅の数））÷（改修用壁押えD（Ⅱ）１本の長さ－重ね幅）

＝（15,726+（150×4））÷（2,727－50）＝6.10⇒7本必要です。

（ロス分は含まれておりません）

④棟・隅棟包みD

・棟・隅棟の長さ＝20,566㎜　重ね幅＝150㎜　出隅加工幅＝150㎜　　の場合

（棟･隅棟の長さ+（出隅加工幅×出隅の数））÷（棟･隅棟包みD１本の長さ－重ね幅）

＝（20,566+（150×4））÷（2,727－150）＝8.21⇒9本必要です。

（ロス分は含まれておりません）

●本体

・切妻

積算の面積Am^2×ロス率※1（10%）＝A×1.1＝Bm^2

Bm^2÷１ケース当たりの面積＝Bm^2÷4.71m^2＝Cケース※2

・寄棟

積算の面積Am^2×ロス率※1（15%）＝A×1.15＝Bm^2

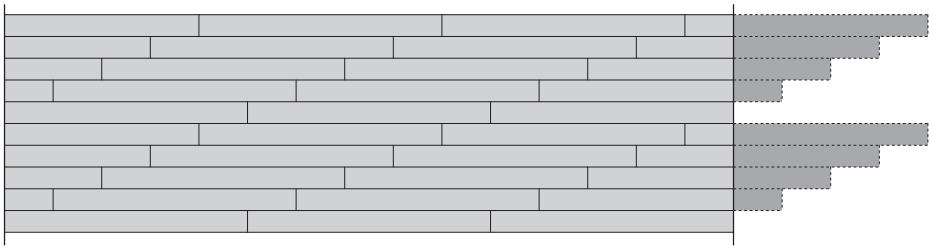
Bm^2÷１ケース当たりの面積＝Bm^2÷4.71m^2＝Cケース※2

※１：ロス率は目安であり、建物の形状や葺き方（回し葺き、一文字葺き）によって異なります。

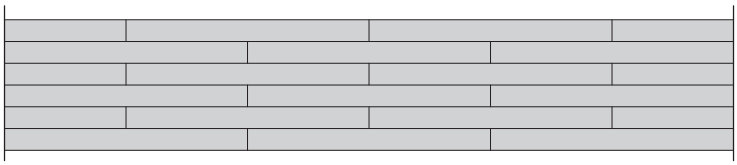
※２：本体は、１ケース単位の出荷ですので、小数点は切り上げてください。（例　C＝5.3ケース→6ケース）

●本体の葺き方

・回し葺き（階段葺き）＜施工ロスが少なくなります＞

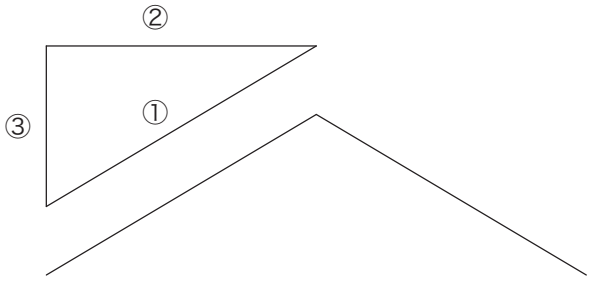


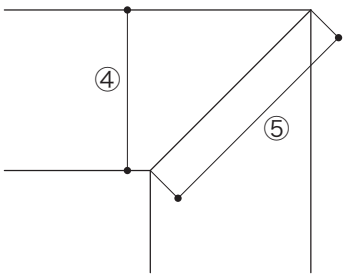
・一文字葺き（千鳥葺き）



参考資料

屋根　実寸法算出用係数表





屋根（流れ）の実寸法①＝図面上の寸法②　×　伏図用係数

屋根（流れ）の実寸法①＝図面上の寸法③　×　立面図用係数

隅（谷）の実寸法⑤＝図面上の寸法④　×　伏図・立面図用係数

勾配	2.5寸	3　寸	3.5寸	4　寸	4.5寸	5　寸	5.5寸	6　寸
伏図用係数	1.031	1.044	1.059	1.077	1.097	1.118	1.141	1.166
立面図用係数	4.123	3.480	3.027	2.693	2.437	2.236	2.075	1.944
伏図・立面図用係数	1.436	1.446	1.457	1.470	1.484	1.500	1.517	1.536

勾配	6.5寸	7　寸	7.5寸	8　寸	8.5寸	9　寸	9.5寸	矩勾配
伏図用係数	1.193	1.221	1.250	1.281	1.312	1.345	1.379	1.414
立面図用係数	1.835	1.744	1.667	1.601	1.544	1.495	1.452	
伏図・立面図用係数	1.566	1.578	1.601	1.625	1.650	1.676	1.704	1.732

10－2. 改修物件調査チェックシート

調査日
年　　月　　日
調査実施者

・物件調査の前に基準風速をチェックし必要な耐風圧性能値を確認してください。
・建物高さによっては施工不可の可能性がありますので注意してください。

		適用項目		基準
建物概要	1	物件名	様邸	
	2	物件住所		・年間平均最深積雪量が概ね30cmを超える地域は施工不可 ・一部解禁地域は要相談
	3	基準風速	(　　)m／ s 地域	
	4	築年数	築 (　　)　年	
	5	建物用途	□戸建て　□集合住宅　□その他 (　　)	
	6	建物高さ	(　　)m	・13m以下(13mを超える場合要相談)
屋根概要	7	屋根形状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□その他 (　　)	
	8	特殊部位	□有り (　　)　□無し	
	9	屋根勾配	(　　)寸	・施工可能:2.5寸以上 ・合板下地工法の場合: 3.5寸未満はジョイント下地必須
	10	屋根流れ長さ	□7m以下 (　　)m　□20m以下 (　　)m	・2.5寸～3.5未満:7mを超えると施工不可 ・3.5寸以上は20mを超えると施工不可
	11	既存屋根材	□化粧スレート (　　)　□その他 (　　)	・スレート、シングル材:直張工法可 ・瓦:合板下地工法 (葺き替え)
屋根状態	12	既存下地	□構造用面材　□その他 (　　)	
	13	既存屋根材	□割れ　□浮き　□ズレ　□その他 (　　)	・有りの場合:補修必要
	14	雨漏り	□有り (状況　　)　□無し	・有りの場合:補修必要
	15	既存野地劣化状態	□歩行時たわみ有り　□無し	・有りの場合:補修必要
	16	構造体劣化状態	□有り (状況　　)　□無し	・有りの場合:施工不可
	17	下地強度 (強度試験) ※項目13～16に異常がある、若しくは判断不可の場合実施	□600N ／本以上　□600N ／本未満 (強度試験)	・600N／本未満の場合:合板下地工法
その他	18	付帯品有無	□太陽光パネル　□太陽熱温水装置　□TVアンテナ □エアコン室外機　□無し	・太陽光パネルの再設置は不可
	19	足場設置	□可能　□不可	・勾配により足場必要

判定

□直張工法
判定基準
□既存屋根:化粧スレート、シングルの場合
□既存劣化状態:項目13～16に異常がない場合
　または、引抜き強度試験にて600N ／本以上の場合

□合板下地工法 (カバー)
判定基準
□既存屋根:化粧スレート、シングルの場合
□既存野地劣化状態:たわみ有りの場合
□下地強度:引抜き強度試験にて
　600N／本未満の場合

□合板下地工法 (葺き替え)
判定基準
□既存屋根:化粧スレート、
　シングル以外の場合
□下地強度:引抜き強度試験にて
　600N／本未満の場合

※施工可能な前提条件
□屋根勾配:2.5寸以上
□流れ長さ:2.5寸～ 3.5未満:7mを超えると施工不可
　3.5寸以上は20mを超えると施工不可20m以下
□雨漏り:無い事
□構造体劣化:無い事

・直張工法：既存屋根を剥がさずに、上から屋根本体を重ね張りする工法。
・合板下地工法：新規の野地板（合板）を敷き、屋根本体を施工する工法。

10ー3. 瑕疵担保保険申請時のご注意

リフォーム瑕疵担保保険の申請では、保険法人各社が定める設計施工基準に従った施工が必要です。本施工説明書には基準に沿った方法が記載されていますが、一部「壁との取り合い部」（P53〜57、P75〜76）については異なる場合があります。
保険申請時には以下の対応をお願いいたします。

保険法人	対　　応
株式会社住宅あんしん保証	包括3条確認書（技3通_24-012）を添付してください 確認書は弊社HPよりダウンロードいただけます
住宅保証機構株式会社	設計施工基準を満たしておりますので、保険法人様の申請手順に従って手続きを行ってください
株式会社日本住宅保証検査機構	包括3条確認書（JR24-1-8-0001）を添付してください 確認書は弊社HPよりダウンロードいただけます
株式会社ハウスジーメン	設計施工基準を満たしておりますので、保険法人様の申請手順に従って手続きを行ってください
ハウスプラス住宅保証株式会社	物件ごとの確認となりますので保険法人様へご確認ください

11 免責事項

次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
・所有者・入居者・管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
・所有者・入居者・管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
・天変地異・周辺環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
・本体及び部材に付着した切粉・加工屑・落ち葉・動物の排出物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビよる汚染などが生じた場合。
・建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。

IG KOGYO

アイジー工業株式会社

本　　社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6　日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3556-0342
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7　食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10　七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12　L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
宇都宮営業所	〒320-0811	栃木県宇都宮市大通り2-1-5 明治安田生命宇都宮大通りビル7F	TEL. 028-611-3483	FAX. 028-637-3005
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54　日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18　北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24　綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 EDGE江坂11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23　博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この施工説明書に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

www.igkogyo.co.jp

No.14　2025.6.1,500